

迎春



秋田県五城目町

# みんなの町議会



## 目次

- 12月定例会の経過・年頭のあいさつ… 2～3
- 常任委員会の焦点 …… 4～5
- 一般質問に7名登壇 …… 6～13
- 陳情・研修報告 …… 14
- あれ なんと なったべが！ …… 15
- 楽しんでます・がんばってます …… 16

No.129

2017年1月1日

町の宝 元気な子ども達



2017

# あけまして おめでとうございます

## 議会の経過

12月定例会は12月5日から9日までの5日間の日程で開かれた。

初日、渡邊町長は行政報告で「五城目小学校改築事業で校舎建設候補地は現在地と雀館運動公園内、五城目一中敷地内の3カ所があり、五城目一中敷地内を最適地として考えている」と述べた。

2日目の一般質問には7名が登壇。湖東厚生病院のあり方・歳入の確保策・いじめ対策・五城目小学校建設事業・公共交通体制・国民健康保険税・朝市振興などを質問した。

3日目は当局より「平成28年度一般会計・特別会計補正予算案、一般職の給与に関する条例の一部を改正する条例制定案」など11件の議案が提

出された。

常任委員会で審査を行い、最終日は常任委員長報告、全議案を全会一致で可決した。他に議会運営委員会からの提出議案1件を可決、陳情5件を採択、人事案件1件に同意し閉会した。

### 補正の主なもの

補正予算は、1億1700万円で累計56億6,445万円。

主なものは

◆災害復旧費

(農地農業用施設災害復旧費)  
4,266万円

◆道路橋りょう費

3,662万円

◆除雪事業費

3,210万円

◆学校施設整備費

756万円

(旧大川小体育館耐震工事等)

年頭のあいさつ

### 英知を結集して輝く町に



議長

小林 正志

希望溢れる新年を迎え、町民の皆様におかれましては健やかにお過ごしのことと存じ、議会を代表してお慶びを申し上げます。

少子・高齢化社会が進み「縮小社会」へと向かうとされる中、今こそ町民の英知を結集して次世代の町のあり方を大所高所から議論すべき時であります。

今年の干支は酉年。運氣を取り込み、より積極的に活動し実りある一年にしたいものと念じております。

タブレットを使用するの議会も、議員一同努力しながら進行しており、ペーパーレス化へと向かっております。町民の皆様とともに「光り輝くまちづくり」のために行政のチェック機関として邁進していく決意であります。皆様にとりまして多幸あふるる年となりますように御祈念申し上げ、御挨拶といたします。

# 一大プロジェクト

## 五城目小学校建設事業の候補地と経過



最適地とされる五城目第一中敷地



雀館運動公園敷地



現在地（土砂災害警戒区域のため建設は困難）

### 議会議員全員協議会の経過

7月6日	現在の五城目小学校校舎は老朽化が著しく、より良い教育環境を確保するため、改築計画を策定したいとして、校舎建築基本構想と教育方針が示された。議員からは「大事業であり十分に調査し民意を反映した事業を」との意見が多数出た。
8月24日	校舎建設候補地として現在地・雀館運動公園内・五一中敷地内の比較表が示され、五一中敷地内が最適との説明があり、地質調査費などを9月定例会に計上するとした。 五一中敷地内の建設場所はどこかとの質問に対し、野球場内、音楽室側、川側と答弁が二転三転した。校舎建設場所が明確でなく、現在地も依然候補地となっていることから「不透明な選考過程であり十分な調査を」との意見が相次いだ。 その後、当局より地質調査費を9月定例会に計上しない旨の説明があった。
11月4日	教育委員会（学校教育課）の教育方針として五一中敷地内が適していると説明。教育委員会委員や関係者などに候補地について説明済みかとの問いに対し、当局は説明済みであると答弁、議員からは教育委員や保護者など関係者との協議や説明が不十分との指摘が相次いだ。

その後、町では説明会を実施中である。



### 人権擁護委員推薦に同意

再任 嶋崎 和良さん

(64歳)

下樋口

(佐藤 慶彦)

提出議案

1、平成28年度五城目町一般会計補正予算（ふるさと納税寄附金について）を審議し、全会一致で可決

2、教育長の任命につき議会の同意を求めることについて、同意した。

**第3回  
臨時会  
10月4日**

### 第5回

### 議員全員協議会

日程…11月4日

#### 協議案件

- 1、五城目小学校改築事業について

#### 報告案件

- 1、五城目町総合発展計画について
- 2、農業委員会法の制度改革について
- 3、五城目町公共施設等総合管理計画について
- 4、五城目町危機管理指針等について

# 好調なふるさと納税

こんなことを審議しました

## 総務産業 常任委員会

9月1日から寄附に対する返礼品を拡充し、ふるさと納税総合サイトを利用した運用を行っている。昨年を大幅に上回る数字で推移しており、12月6日までに2,140万円に達した。それに伴い歳入歳出ともに1,000万円増額した。現時点で22業者が返礼品業者として登録しており60品の品ぞろえがある。販売経費を差し引いた実質の寄附相当額は1割ほどで他の自治体に比べて低くなっているが、町特産品のPRと仕事づくりに寄与するものと考えられる。



ふるさとチョイスのホームページ

## 災害復旧工事16カ所



豪雨災害のつめ跡

8月26日の豪雨で、農地3カ所、農道1カ所、水路12カ所の災害が発生した。馬場目地区3カ所、富津内地区4カ所、内川地区8カ所、大川地区1カ所。その災害復旧について補正予算を組み対応にいたる。工期は3月31日。

## 除雪事業に3,210万円追加

本格的な積雪期を迎え除雪事業費に3,210万円の補正をし、総額で5,737万円の予算となった。これまでの融雪剤散布車が老朽化により、廃車処分した代わりに、今冬はリースによる軽トラック散布車に対応する。



リースによる融雪剤散布車

(荒川 滋)

# 教育民生 常任委員会

## 委員会の焦点

# 民生委員の不在地区 早期に改善を図る



安心して暮らせる地域づくりを

現在3地区において、なり手がいないなどの理由で民生委員が不在の地域があり、不在解消のため、調整に努めている。

地域の福祉活動に支障がないよう町内会が補うこととしているが、これに限らず、民生委員全体の高齢化や年齢制限もあり、今後より手の不足も心配され、地区の再編など考慮すべき時期に来ている。



薬のジェネリック化を進めよう

## データヘルス計画を策定予定

要介護者・要支援者が「高齢者住宅改修費用助成制度」を利用し、居宅をバリアフリー工事をした場合、現在は改修費用を一時的に全額支払いし、後日、町から助成金が支払われている。今後は、町が直接業者への支払いをする「受領委任払い」制度を利用し、個人負担の軽減に努める。



住宅を住みやすく

## バリアフリー改修費支払い 負担軽減される

将来の医療費の伸びを抑え、国民（被保険者等）の負担を軽減し、国民皆保険制度を持続可能にする対策の一つとして、平成29年度「データヘルス計画」を策定し、改善を図る予定である。  
計画では、レセプトや健診のデータから効率良く保健指導ができるようにし、薬のジェネリック化を推進、重複受診の改善、疾病の重症化予防など個人個人に対応した指導を行うこととしている。

(椎名 志保)

# 一般質問

## 7議員が登壇 ただ 30項目を質す

### 一般質問とは？

一般質問は、年4回(3、6、9、12月)の町議会定例会において行われます。

議案とは関係なく、町政全般にわたって議員主導による政策論議であり、通告制が採用されています。

一般質問をするかしないかは、議員個人の判断によります。

\*五城目町議会では、質問者1人につき持ち時間は60分(質問・答弁含む)となっています。

### 質問者

#### 椎名 志保 議員

- 町との対話「ワークショップ」について
- 町民との対話の機会について
- 湖東地区の医療拠点である湖東厚生病院のあり方について

#### 佐藤 慶彦 議員

- 歳入の確保策について
- 職員の能力開発促進について
- 新教育の所信について
- 水道事業会計について
- 国民健康保険について
- 五城目小学校改築事業について

#### 斎藤 晋 議員

- いじめについて
- 小学校建設について
- より良い除雪にするために
- 災害対策について
- 高齢者の技・知恵で町の発展・活性化を図るべき

#### 畑澤 洋子 議員

- 五城目小学校建設予定地決定の前に
- 食品ロス削減対策にフードバンクの立ち上げを
- 乳がんによる乳房再建と手術後の支援を
- 大きな視点に立った地域福祉の構築を

#### 佐藤 重信 議員

- スクールバスの停留所について
- 河川敷に植栽されている桜など街路樹の管理者は
- 農村公園の管理について
- 公共交通体制について

#### 石川 交三 議員

- 4期目の選挙戦に向け、町民に何を訴えるか
- 国民健康保険税の負担増回避について
- 五城目小学校はいつどこに建てるのか
- 子供の貧困と就学援助、奨学金返還助成と政治的中立性について
- 町内循環バスの運行を実現しよう

#### 荒川 滋 議員

- 五城目小学校改築事業について
- 五城目朝市について
- 避難所

\*誌面の関係上掲載できなかった●印の質問については、町ホームページにて議会映像を配信しておりますのでそちらをご覧ください。

あなたにかわって  
聞きました

# 一般質問

## ワークショップから 具体的な施策を

町長

### 支援制度づくりや具体的な事業を 検討している



椎名 志保

**椎名** 「町との対話 ワークショップ」と題し、出合いの場や子育て支援などについて町民と話し合う機会が持たれた。

その中で、既存の子育て支援が周知されていない事実が明らかとなった。パンフレットや資料の配布と合わせ、スマートフォンへの情報配信にも取り組むべきではないか。

**町長** 「結婚・子育てガイドブック」を作成し、情報提供の強化を図る。また、ホームページを作成し、意見や相談、仲間作りや交流など、メールのやりとりで情報交換できる参加型ホームページにしたい。その中で、登録者のスマートフォンへの情報発信も検討していく。



若い世代の声が届けられた

**椎名** 子育てに関わる担当課が複数であるため、情報を把握しづらい、窓口を一つにして欲しいとの声は以前から聞かれている。

今こそ「子育て支援課」を立ち上げ、専門性に長けた職員を活用し、子育てしやすい環境づくりを整備する必要があるのではないかと。

**町長** 出合いから子育てまでの切れ目のない支援を活用できる専用ホームページ開設の準備を進めている。

組織・機構の見直しの前に、まずは分かりやすい情報発信に努め、各課においても迅速かつ丁寧な対応ができるようにする。

### 町民との対話を 増やしては

**椎名** 町が行っている町内会単位の懇談会は、若い世代が参加しづらい状況にある。

「町との対話 ワークショップ」は開催時間が配慮され、若い世代の参加を促すものであった。

今後、こういったワークショップを毎月定期的で開催してはどうか。毎月テーマを決め、担当課が開催にあたる。町民と町が一つのテーマについて意見交換し、町民の町づくり参加への意識喚起の場にもなり得ないか。

**町長** ワークショップ形式での話し合いは、地域社会の課題解決を行う協働体制の充実が期待できるので、検討する。

### 湖東厚生病院の 地域での役割に 提言すべき

**椎名** 平成26年に湖東厚生病院は新たに開院して以来、「地域を支え、地域の皆さまに愛される病院を目指す」ことを基本理念に掲げ、湖東地区の医療を担っている。夜間



湖東地区の医療を担う期待は大きい

の救急の受け入れこそないが、診療外の午後の時間であっても対応したり、夕暮れ診療は勤めを終えた人々に好評である。しかし、病床が満床になることはなく、医師不足も課題のままである。

病院が介護や福祉と連携し、在宅医療を進めていくことと合わせ、系列外病院からの患者への対応、特に地元で最期を迎えたいと希望する終末期患者の受け入れも行って欲しい、との声もある。

町として地域医療のあるべき姿をしっかりと捉え、拠点となる湖東厚生病院へ提言していくべきではないか。

**町長** 協議会や、担当課長会議などにおいて、地域住民に対する安心・安全な医療提供の取り組みの一つとして検討するよう要請していく。

# 一般質問

## 歳入の確保策を 公共施設全体の利用料は適正か

**町長** 検討したことがなく早急に方針を整理したい



佐藤 慶彦



負担が大きくなっていく公共施設

**佐藤** 厳しい財政状態であり、歳入の確保が必要である。公共施設の利用料は適正か。施設を利用する人としらない人の負担の公平性の観点や、利用者の負担割合の考え方はどうなっているか。

早期に検討する必要があると認識しており、負担の公平性や算定基準と算定方法の明確化を念頭に方針を整理したい。

**佐藤** 施設が公的か民間的か、必需のか選択的か分類しその公共性に応じて「税負担」と「利用者負担」の割合を設定する必要がある。

### 五小建設候補地 入念な調査を

**佐藤** 雀館運動公園内案で広域体育館の活用や公共施設最適化事業債を活用した代替であれば公共施設を一つ減らす事につながるが。

**町長** 人口の減少と節水家電の普及により収入は減少、支出は修繕費が増加し収益を圧迫している。この状態が数年続いた場合は料金の改定も考えられるが、生活に影響を及ぼすため十分に検討したい。

**町長** 町全体の公共施設の料金体系についてこれまで検討したことがなく、利用者負担の公平性が適正かどうかかわらない。利用料金のあり方を

**町長** 雀館運動公園内案は複数の施設を共有できる可能性もあるが、不特定多数の人たちと接触回数が増えることが危惧され、候補地として適さないという評価に至った。



子どもに危険な川沿い、堀は60cmもない  
五中敷地への通学は危険では

### 水道事業も厳しい状態

**佐藤** 水道事業の供給単価と給水原価の差（不足分）が拡大してきたが原因と対策は。

**町長** 人口の減少と節水家電の普及により収入は減少、支出は修繕費が増加し収益を圧迫している。この状態が数年続いた場合は料金の改定も考えられるが、生活に影響を及ぼすため十分に検討したい。

### 新教育長の やりたいことは

**佐藤** 学校長の経験を活かした教育の充実策を。

**教育長** 小中学校足並みを揃えたICT教育の環境整備を進めたい。学校校務支援システムの導入などにより、課題となっている教師の校務負担軽減に努め、子どもたちと向き合う時間の確保を図りたい。



# 一般質問

## いじめ対策は、どうすべきか

### 教育長

人権・人格の否定につながる行為で許されない  
基本方針に基づき、未然防止と早期発見に努める



齋藤 晋

### いじめの件数 1773件に

**齋藤** 昨年度に報告されたいじめの件数が、前年度より649件増え1773件となった。増加の理由は何か。

**教育長** いじめの定義が明確にされ、インターネット・携帯電話での中傷や悪口などが追加されたためである。

### 何故 いじめを 認めない

**齋藤** 学校や教師は何故いじめを認めない、認めれば学校や教師に不利益はあるのか。

**教育長** いじめを認知することの抵抗感があったり、教育委員会にマイナス評価されるという先入観があったりする

と言われている。教育委員会としては、いじめの認知件数が増えることは、肯定的に評価されることを学校・管理職・教職員に周知徹底する。

### 今後のいじめ 対策は

**教育長** いじめは、人権・人格の否定につながる行為で許されない行為である。

各学校が作成した「いじめ防止のための基本方針」に基づき、いじめをしない指導の徹底と未然防止と早期発見に努め、組織的に取り組むよう指導する。



いじめは一人で悩まない。相談しよう

### 小学校建設場所の デメリットは

**齋藤** 保護者の立場からすると、建設場所はデメリットが無いほうが良い、デメリットをどう解決するのが重要。

**教育長** 中学校敷地内に建設の場合、

- ① 十分な駐車場の確保を（未使用地や町有地を整備し確保したい）
  - ② 交通手段スクールバスの範囲や路線はどうなる（運行範囲と有効な路線経路を見直す）
  - ③ グランドを中学校と、どう共有するか（小・中学校共同でカリキュラムを組み対応する）
  - ④ 敷地内除雪の対応は（現在も建設課で対応しているが、学校に小型の除雪機もあり、最良の方法で実施する）
- などがある。

### 除雪の請求と 支払いは適正か

**齋藤** 昨年から除雪車にGPS端末を搭載し、そのデータで請求支払いをしているが、端末スイッチのON・OFFはどのタイミングでしているか。

**町長** 除雪車へ搭載するGPS端末は、車庫を出る時ON除雪作業終了時OFFにする。作業区間までの走行と、作業終了後車庫までの回送は燃料費を考慮し、作業単価の2分の1を支払う契約である。

その他に

- 横浜市のいじめ事件の対応は適正であったか
- 排雪場所が無いため除雪が不十分なのは
- 想定外の地震が発生した場合の責任所在は
- 高齢者の技・知恵で町の発展・活性化を図るべき、具体策は

質問しました。

あなたにかわって  
聞きました

# 一般質問

# 小学校建設地説明会で不安に対する情報の提供を

## 教育長 建設地決定後に対処していく



畑澤 洋子  
(公明党)

**畑澤** 集団登校区域の0歳児1歳児保護者の意見を集めた。

- ・遠くなる
  - ・スクールバスは出るか
  - ・歩道、信号機、街灯の設置
  - ・川沿いの環境整備
  - ・高崎、広ヶ野間の橋の新設
  - ・雀館がいい
  - ・保育園の近くがいい
- など様々な意見がある。事前に対応して説明できるようにしてほしい。

**教育長** 建設地決定後に安全な道順とスクールバス利用範囲を示していく。

### 乳がんによる乳房切除後の支援を

**畑澤** 乳がん治療の進歩は著しいが、治療の第一選択は現在も手術療法である。温存、切除の術式に関わらず乳房の変形はさげがたく、ボディイメージへの影響は大きい。単に切除するという身体的変化だけでなく、心理的、社会的に大きな変化をもたらす。

公費助成で乳房再建へのアクセスを容易に。補正下着と医療用ウィッグ助成で金銭的負担の軽減をはかってはどうか。

**町長** 県では平成29年度から医療用ウィッグ助成事業を行うことを想定している。近隣町村の動向を見極めながら検討していく。

### 地域福祉をみんなの手で

**畑澤** 自助・互助・共助による地域の態勢づくり、インフォーマルなサービスを整えるためには、社会福祉法に位置づけられている社会福祉協議会との共同が必要になってくる。秋田市社会福祉協議会で実施されている「ふれあいさん派遣事業」を町でも実施してはどうか。

### 食品ロス対策にフードバンク設立を

**畑澤** 食べられる状態なのに捨てられる食品ロス。食料の損失・廃棄は、経済、環境、社会に重要な影響を与えている。学校給食や食育、環境教育を通して啓発を進めるように。町民・事業者が一体となり「残さず食べる運動」「持ち帰り運動」を展開してはどうか。フードバンクを設立し、未利用食品を必要とする人に届ける仕組みの確立を。

当町にフードバンクで生活支援をする活動はないが今後検討する。

**町長** さまざまな取り組みを参考に社会福祉協議会と連携しながら、ニーズに応じたインフォーマルサービスに取り組んでいく。

**町長** 学校では食育推進や食生活改善事業で学習している。



フードバンク収集容器 (40ℓ)

# 一般質問

## スクールバスの乗降場所に待合室を

教育長

### 乗降場所が1年毎に変更になる場合もあり難しい



佐藤 重信

**佐藤** 風雨、風雪などさえぎる物が一切ない。吹きさらしの中でバスを待っている。利用する児童が少ないとはいえ配慮が足りないのではないかと。**教育長** 対象児童生徒の居住分布を確認し運送事業者、教育委員会、当該児童の保護者と実際バスを走らせ安全性・合理性を考慮し決めた。発着時刻は事前に連絡され、予定時刻を大きくずれることなく安全帯の確保と安定的な運行体制を進めていく。**佐藤** 移動できる待合室を作るなど色々工夫があるので。**教育長** 移設可能な簡易的な物は強風により危険が予想される。**佐藤** 保護者はバス停から離れた建物の陰に隠れたり、自分の子供だけと遠慮し、我慢している。一日も早い設置を望む。



一日も早い待合室を

### 公共交通体制の充実を

**佐藤** デマンドバスの大川地区への運行と秋田厚生医療センターへの直通バスを実施できないか。**町長** 地域公共交通網形成計画において検討している。通院先に湖東厚生病院の次に多いのが秋田厚生医療センターである。バス事業者に委託するか事業者が直接運行するか検証する必要がある。地域医療の拠点である湖東厚生病院への影響や周辺市町村、関係機関などの協議も重要となる。可能性について調査検討する。**佐藤** 公共交通体制を見直

### 河川敷に植栽されている桜などの管理者は

**佐藤** テングス病などに侵され花の咲かない木や枝が伸び放題になっている。場所によっては町内会などで管理しているが高齢化により容易でない。その対応は。**町長** 地元町内会が植栽している箇所は町内会の管理となっている。高齢化でできない箇所は町で維持管理に努めている。今後については検討する。**佐藤** 老木と見受けられる(特にソメイヨシノは寿命60年〜70年)桜もあるが伐採は考えているか。剪定した太い枝の処理は。

し、近隣町村と協力し、循環バスなどを考えてはどうか。**町長** 南秋田郡内の町村で湖東地域公共交通対策研究会を立ち上げ、広域での交通再編を検討する。

その他に  
○農村公園の管理について  
質問しました。



町内会の管理では限界

**町長** 広ヶ野橋周辺に植栽されている桜は急勾配で伐採するには危険を伴う場所であり、今後検討する。業者に委託した処理については受託業者が処分している。**佐藤** ある一定以上の太さの物はマキなどとして利活用できる。町民の中には希望する人もいると思う。町の財産でもあり有償で希望者を募ってはどうか。**町長** 樹木の伐採などについては売却も含め検討する。

# 一般質問

## 四期目の選挙戦で 町民に何を訴えるか

町長

### 希望と誇りの持てるふるさとの 創生に全力を傾注する



石川 交三  
(日本共産党)



くらし守る砦の役割 (役場)

**石川** 人口減少が進む中、消費市場の規模縮小は避けられない。高齢化の進行は地域社会の様々な基盤の維持を困難にしている。縮小社会に向かっている現実を見据え、町長は何をやるうとしていいのか、どういった町を作ろうとしているのか。町民に向けて「夢と希望」を具体的に何をどう語るのか。

**町長** 拡大成長から縮小社会へと時代は大きな変革の時期を迎え、町は変化に対応できる総合力が問われている。人口減少打開対策は喫緊の課題であり、「夢と希望」はまさに「五城目らしさの追求」であり、町づくりの基本である。地域が一丸となり取り組むまちづくり、首都圏からの移住により若者がビジネス展開出来るまちづくりは「しごとづくり」にも確かな手応えを感じ取れるようになってきた。チャンスがあり、チャレンジできる環境づくりをしつかりと提供することが責務だ。若者が集い始めたチャンスを逃さず、希望と誇りの持てるふるさと創生に全力をあげる。

**石川** 今後の町づくりの眼目・柱はなにか。

**町長** 五小建設と少子化対策・企業立地対策・農林業対策・高齢化対策・行財政健全化対策の五つの重点対策で、町の更なる飛躍と発展を目指す。

### 就学援助の入学準備金 支給時期を早めよう

**教育長** 入学前に支給する方向で進める

**石川** 全国的に入学準備金を入学前に支給する市町村が増えている。他でやってわが町が出来ないでは情けない。文科省通知でも「児童生徒が援助を必要とする時期に速やかに支給できるよう配慮を」としている。

**教育長** 就学援助の認定は出来る限り直近の経済状況により審査の必要があり、前年度所得を基準としている。入学学用品費を入学前に支給するには申請時期を早める必要がある。規則の改正を行い、入学前に支給する方向で進めていく。

### 県の事業に対応した奨学金助成事業を創設しよう

**石川** 奨学金はサラ金なみの負担もあり、本人はもとより家族にとっても大きな負担となっている。県では「県内就職者向けの奨学金返還助成制度」を創設した。定住促進・暮らし応援の観点から実施を

求めたい。

**教育長** 町の育英資金貸付金事業も県事業に該当し、周知を図りたい。町の助成事業創設は県事業の推移を見ながら重複しないよう検討する。

### 町内循環バスの 運行実現を

**石川** デマンド型タクシーだけでは地域間交流、観光客、帰省客に対応できない。

**町長** 交通の利便性を高めるためにも公共交通の再編は必要不可欠となっている。地域公共交通網形成計画、広域コミュニティ交通の中でも検討し、充実を図っていく。



「もりやま号」の復活を

その他に  
○国民健康保険税の負担増回避について  
○五小はいつどこに建てるのか。

質問しました。

# 一般質問

# 住民へのきめ細かさに欠ける 五城目小学校改築事業

教育長

## 配慮に欠けた 今後は密に報告していく



荒川 滋



町の宝である子ども達の大切な学び舎

**荒川** 平成25年度校舎建築基本構想検討委員会、平成26年度校舎建築検討委員会、平成27年2月4日開催のPTA関係者との懇談会の出席者と内容は。

**教育長** 基本構想検討委員は町内小中学校の学校長と教頭、

学校教育課職員でコンセプトや施設に対して教職員の立場から意見を出してもらった。建築検討委員は役場6課長及び消防署長で整備方針・工法・補助事業等について協議した。

**学校教育課長** 懇談会はPTA関係者とも園保護者、地域おこし協力隊、町職員等でそれぞれの立場から要望意見を出していただいた。

**荒川** 懇談会参加者の中に11月の新聞報道で初めて建設候補地の現状を知った方がいた。きめ細かさに欠ける。人とまちが響き合っていない。今後は年に複数回進捗状況の報告や意見交換の場を設けるべき。来週(12月14日~16日)の保護者説明会では通学路の安全の確保と距離等、詳しいデータを添えて臨むべき。

**教育長** きめ細かさに欠けた点は配慮が足りなかった。今後は密に報告していく。

**荒川** 現校舎の敷地の土砂災害警戒区域範囲は。

**教育長** 二つの沢の影響で敷地のほぼ全体が指定された(10月18日)。

**荒川** 現在地への建設は可能か。  
**教育長** 無理である。

**荒川** 雀館運動公園と五一中敷地を考えているようだが、ほかに民有地を検討したことはあったか。

**学校教育課長** 雀館運動公園の一部としての検討はあった。

**荒川** 町が進める小中連携について詳しく。

**教育長** 平成23年度に立ち上げたもので、合同研修会、連携授業研究会、新入生中学校体験交流会や職場体験発表等の相互交流を図っている。教員の側では、生徒指導の問題点や児童生徒の情報共有化を図っている。

**荒川** 通学路の安全の確保と通学距離、スクールバス運行地域の見直しは。

**教育長** スクールバス運行範囲の見直しは必要である。橋や歩道も安全確保のため調査改善していく。

**荒川** 学校は避難所としても想定されるが、災害支援物資備蓄倉庫併設を。

**教育長** 基本設計を作成する段階で考えていく。

## 朝市plus十検証と今後

**荒川** 朝市わくわく盛り上げ隊の尽力により大変な盛り上げりを見せ来場者出店者数ともに通常を大幅に上回った朝市plus十。今年度の検証と来年度に向けての展望。また予算化処置を。

**町長** 朝市わくわく盛り上げ隊の方々のご尽力には心から感謝している。今後は朝市振興委員会で協議後、必要な取組み、体制を検討する。



**荒川** 朝市販売体験の小学生に心ない言葉が掛けられた。朝市復活のために出店者会議開催を。

**町長** マナー欠如が取りざたされるのは非常に残念な事。ルール、マナー順守の指導と必要に応じて指導文書の配布、講習会・出店者会議を開催していく。

**荒川** 7月で運用を終えたNTT東日本秋田ふるさとライブラメラの利活用で、朝市通りを全国に発信。

**町長** NTTから無償譲渡を受けた。新年度からの再運用に向け協議中である。

# 陳情と意見書

五城目町議会が議決した意見書を各関係機関に提出しました。

## 採 択

◆安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める陳情

秋田県医療労働組合連合会  
執行委員長 渋谷 一

## 意見書

安全・安心の医療・介護を実現するために、医師・看護師・医療技術職・介護職の大幅増員と労働環境の改善を求めることと、患者・利用者の負担軽減をはかる等の医療提供体制の充実を求める。

## 提出先

内閣総理大臣 安倍 晋三  
厚生労働大臣 塩崎 恭久  
財務大臣 麻生 太郎  
文部科学大臣 高市 博  
総務大臣 松野 博一  
秋田県知事 佐竹 敬久

## 採 択

◆地域の実情に応じた医療提供体制の確保を求める陳情

秋田県医療労働組合連合会  
執行委員長 渋谷 一

## 意見書

地域の医療提供体制確保のため、都道府県が策定する地域医療構想が地域の実情に応じた現実的な内容となるよう、国が推定方式の抜本的な見直しを行うことを求める。

## 提出先

内閣総理大臣 安倍 晋三  
厚生労働大臣 塩崎 恭久  
財務大臣 麻生 太郎  
総務大臣 高市 博  
経済産業大臣 世耕 弘成

## 採 択

◆介護保険の給付縮小・負担増を中止し、充実を求める陳情

秋田県社会保険推進協議会  
会長 渡辺 淳

## 意見書

介護保険制度の給付対象の縮小と利用者負担増の検討を中止し、介護を担う職員が自らの専門性を発揮し、誇りをもって働き続けられるために介護従事者の大幅な処遇改善や確保対策の強化をはかるなど、制度の充実・改善を求める。

## 提出先

内閣総理大臣 安倍 晋三  
財務大臣 麻生 太郎  
厚生労働大臣 塩崎 恭久  
衆議院議長 大島 理森  
参議院議長 伊達 忠一

## 採 択

◆高額療養費・後期高齢者の窓口負担の見直しに当たり、現行制度の継続を求める陳情

秋田県社会保険推進協議会  
会長 渡辺 淳

秋田県保険医療協会  
会長 草薨 芳明

## 意見書

経済的な理由で必要な受診ができない方が増えているなか、財務省・財政制度等審議会は改革の方向として「受診時定額負担の導入」や「高額療養費制度の限度額の引き上げ」などを提言している。このことから、現行制度を継続し、患者の負担増による受診抑制がおきないように、関係省庁、関係審議会において慎重な審議をおこなうよう求める。

## 提出先

内閣総理大臣 安倍 晋三  
財務大臣 麻生 太郎  
厚生労働大臣 塩崎 恭久  
総務大臣 高市 博  
衆議院議長 大島 理森  
参議院議長 伊達 忠一

## 採 択

◆若い人も高齢者も安心できる年金制度改善と年金積立金の株式運用の見直しを求める陳情

秋田県社会保険推進協議会  
会長 渡辺 淳

全日本年金者組合秋田県本部  
執行委員長 渡部 雅子

## 意見書

若い人も高齢者も現在および将来にわたって安心・安定して暮らしていくために、マクロ経済スライドの廃止、年金支給開始年齢の引き上げやさらなる年金額の引き下げの改善の中止など、年金制度改善と積立金の株式運用の見直しを求める。

## 提出先

内閣総理大臣 安倍 晋三  
財務大臣 麻生 太郎  
厚生労働大臣 塩崎 恭久  
衆議院議長 大島 理森  
参議院議長 伊達 忠一

## 委員会提出議案

## 可 決

◆地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書

議会運営委員長 石川 交三

## 意見書

地方議会議員年金制度が破綻・廃止となり、新たに議員となった人たちが受け取れる議員年金は存在せず、地方議会議員の将来にわたっての安定した保証は何らなされていない。このことから、幅広い政治参加と地方議会における人材確保を目指す上からも時代にあわせて地方議会議員の厚生年金加入のための法整備を早急に実現することを強く要請する。

## 提出先

内閣総理大臣 安倍 晋三  
内閣官房長官 菅 義偉  
財務大臣 麻生 太郎  
厚生労働大臣 塩崎 恭久  
総務大臣 高市 博  
衆議院議長 大島 理森  
参議院議長 伊達 忠一

(石井 光雅)

# 議員研修報告

## ▼町村共通課題を学ぶ

### 研修名

町村議会議員特別セミナー

### 研修期間

10月6日～7日

### 研修先

滋賀県大津市・全国市町村国際文化研修所

### 主な講義

「住民自治と観光戦略」「町村エリアにおける今後の観光の役割と可能性」

### 参加議員

佐藤 慶彦

## ▼今後の社会保障を考える

### 研修名

市町村議会議員研修「社会保障・社会福祉コース」

### 研修期間

10月17日～21日

### 研修先

滋賀県大津市・全国市町村国際文化研修所

### 主な講義

「介護保険のこれからと市町村の役割」「地域医療の確保に関する課題」

### 参加議員

椎名 志保

## ▼広報誌作成の基本を学ぶ

### 研修名

町村議会広報研修会

### 研修期間

10月25日

### 研修先

東京都千代田区・砂防会館

### 主な講義

「分かりやすく、伝わる広報誌の表記」「読まれて、伝わる議会広報誌」

### 参加議員

荒川 滋・椎名 志保



分かりやすい広報を目指して

## ▼時代に即した議会の役割を学ぶ

### 研修名

地方分権の動向と自治体の行政改革

### 研修期間

10月31日～11月2日

### 研修先

滋賀県大津市・全国市町村国際文化研修所

### 主な講義

「地方分権の実現にむけて、地方自治体は何をすべきか」「分権時代における地方議員のあり方」

### 参加議員

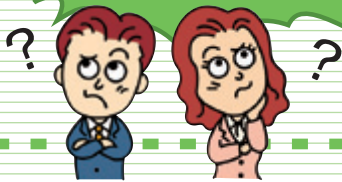
佐藤 慶彦

### 参加議員

(佐藤 慶彦)



あれ



# なんとになったべが!

平成27年12月定例会一般質問より

問

町民センター前の車道閉鎖の理由はなにか。

答

施設内の通路への駐車車両が増えて、事故が危惧されたことから安全確保のために一般車輛進入禁止と駐車規制を行った。

様には施設内通路の一方通行と駐車禁止にご協力をお願いしています。

現在では、施設利用者の皆様のご理解をいただき、駐車場利用が浸透してきており、引き続き、施設の安全確保に努めてまいります。

現在 施設利用者の安全確保のため、障害のある方や物品の搬入搬出、一時的停車を除き、利用者の皆



利用者のマナーが向上

問

返礼品の充実や決済方法の拡充で、ふるさと納税の促進を。

答

町では5千円以上のふるさと納税に対し米5キロを提供している。全国の決済方法を参考にするとともに、特産品開発を促進し、納税の確保に努めたい。

現在

平成28年9月1日からふるさと納税に対する返礼品の充実を図るとともに、クレジット決済による納付方法を取り入れ、町特産品のPRと販売促進に重点を置き、寄附促進を図っており、11月までの3ヶ月間で約2,000万円の寄附となっております。

問

生涯学習振興計画の策定を。

答

今年度内に教育委員会定例会に計画(案)を諮り、承認後に開示する。

現在

平成28年3月に、町社会教育委員会と町教育委員会の承認をいただき、同年4月に策定済みである。現在は、生涯学習課窓口にて開示するほか、町ホームページ掲載に向け準備を進めています。

## 林活、秋田産電力を視察

五城目町森林・林業・産業活性化推進議員連盟は、10月26日秋田市向浜の木質バイオマス発電所ユナイテッドリニューアブルエナジー株式会社を視察した。28年7月1日より稼働、20メガワット発電で3万8千世帯分の電力を売電している。燃料は県内産チップ7割、助燃材としてインドネシア・マレーシア産パーム椰子殻3割使用している。チップは年間11万5千t使用、同時に植林もセットで実施することにより雇用の確保にもつながる。秋田の森から新しいエネルギーが生まれる秋田産電力に大いに期待する。



バイオマス発電所

(石井 光雅)



### 黒土町内会

会長 石井 勝義さん



◆一人から始まった冬のイルミネーションが、町内会の取り組みになりましたね。きっかけは？

**石井** 町内の美化運動の企画でイルミネーションと、「いちちょうの木」のライトアップを始めました。



◆大変なことは。

**石井** 設置するのも大変ですが、電飾の劣化で長く持たないのが大変です。

◆楽しいことは。

**石井** 「守りたい秋田の里地里山」に、「いちちょうの木」が選ばれテレビやネットで紹介されました。町内外からイルミネーションも喜ばれているのがうれしいです。

◆町政や議会に、「ご意見」要望はありますか。

**石井** 町内の美化運動には資金が必要です。「地域づくり支援事業」の助成金を3年間いただいたのですが、今年で終了になります。今後の資金づくりが課題です。(畑澤 洋子)

## がんばってます



五城目高校  
生徒会会長  
さるた かずま  
猿田 一磨さん  
(御蔵町)

私は昨年11月より五城目高校の生徒会長を務めています。現在、「五城目ソーシャルラボ」と呼ばれる活動に力を入れています。生徒会を中心としたメンバーが、東大の先生や五城目町の方々の協力のもと、地元五城目町について研究しています。この活動は今年で2年目となりますが、昨年度から参加している経験を活かし、今年度はリーダーとして研究チームを引っ張る役割を担っています。チーム全体としてはまだ慣れない部分もありますが、2年生を中心に活発に活動しています。

今年度は「五城目町と五高の関わり」をテーマの中心に据え、研究に取り組んでいます。昔と今の写真を比較することで、五城目町と五高の過去・現在・未来を思い描いたり、五城目町在住の五高同窓生の方々から昔のお話を伺うなどの機会を経て、この地域における五高の在り方を改めて考えさせられています。

生徒会長として、今後五高生と五城目町が今まで以上に密に関わる機会を作り、地域の学校として何か町に貢献することができないだろうかと考えています。そして、地域の方々から応援していただけるような学校づくりをしていきたいです。

(荒川 滋)

### 編集

### 後記



あけましておめでとうございます。皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

地域おこし協力隊がまもなく任期を終える。

協力隊の動きは町を元気にし、県内外から注目され、五城目を訪れる人が後を絶たなかった。心から感謝したい。

活動の成果は、これから表れるに違いない。刺激を受け、何かを学んだ若者が行動を起こし、元気をもらった地域住民が、ますます活発な地域活動へと乗り出す。

今後、町のあちこちから協力隊の蒔いた種が芽吹くのを見守り、応援していきたい。

4度目の広報編集に取り組みながら、誌面を読む町民の皆様を思い浮かべ、マスを埋める日々であった。この思い、届きますように。

椎名 志保